

安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2019/10/01

1. 製品及び会社情報

製品名:	高純度硫酸アンモニウム
会社名:	高杉製薬株式会社
住所:	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話番号:	092-621-1231
FAX番号:	092-621-6269

2. 危険有害性の要約

GHS分類: GHS分類基準に該当しない。

重要危険有害性

物理的及び化学的危険性:	該当せず/分類対象外/分類できない
健康に対する有害性:	該当せず/分類対象外/分類できない
環境に対する有害性:	該当せず/分類対象外/分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:	該当なし
注意喚起語:	該当なし
危険有害性情報:	該当なし

GHS分類区分は付与されないが取扱い時には以下の点に留意する。

注意書き:

[安全対策]	環境への放出を避けること。
[応急措置]	飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当てを受けること。
[保管]	特になし
[廃棄]	内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性: 情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分:	単一製品
化学名又は一般名:	硫酸アンモニウム
別名:	硫安、硫酸アンモン
成分及び含有量:	99.0 % ≤ 硫酸アンモニウム
化学式又は構造式:	(NH ₄) ₂ SO ₄
分子量:	132.14
官報公示整理番号	(1)-400
CAS 登録番号(CAS RN®):	7783-20-2
危険有害成分:	特になし

4. 応急措置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合:	多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 水疱、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診察を受けること。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤:	大量の水、水の噴霧、ドライケミカル、炭酸ガス消火器
使ってはならない消火剤:	情報なし
火災時の特有危険有害性:	加熱分解により、有害なアンモニア、亜硫酸ガスを発生する。
特有の消火方法:	本製品自体は、不燃性である。 火災に曝されたときは、大量の水で消火する。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移動する。移動困難な場合は、注水して容器の冷却、分解を制止し、可燃物の燃焼を抑え延焼防止に努める。 加熱分解したガスは、有害なアンモニア、亜硫酸ガスを含有するので消火作業は風上から行う。
消火を行う者の保護:	空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項:	流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 密閉容器に回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	防水シート等で覆いをして飛散拡大防止を図り、容器に回収する。 掃き取り、回収又は廃棄する。 粉じんがたたないようにし、出来る限り回収する。
二次災害の防止策:	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	粉じんを吸入しないように、防じんマスク等適切な保護具を着用する。 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項:	取扱いは、換気のよい場所で行い、粉じんが飛散しないよう注意する。 容器は丁寧に取扱い、衝撃を与えたり、転倒させない。
保管	
安全な保管条件:	「10.安定性及び反応性」を参照。 少し吸湿性があるので、長期間外気に曝さない。できるだけ湿度の低い、乾燥した倉庫等に保管する。
混触禁止物質:	情報なし
安全な容器包装材料:	ポリエチレン・ポリプロピレン製容器、麻、紙、塩化ビニル

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会:	設定されていない。
米国産業衛生専門家会議(ACGIH):	設定されていない。
設備対策:	屋内での取扱いの際は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに洗眼、手洗い設備を設けその位置を明確に表示する。
保護具	
呼吸器の保護具:	防じんマスク、簡易防じんマスク
手の保護具:	ゴム手袋等を着用する。
眼の保護具:	ゴーグル等の保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具:	ゴム長靴、ゴム前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状:	結晶
色:	白色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし

pH:	
融点・凝固点:	513 °C(封管中)
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
蒸発速度:	データなし
燃焼性(固体, 気体):	データなし
燃焼又は爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重(密度):	1769 kg/m ³ (20 °C)
溶解度:	水: 706 g/L(0 °C)、754 g/L(20 °C)、1033 g/L(100 °C) エタノール、アセトン、二硫化炭素に不溶
n-オクタノール/水分配係数:	log Pow = -5.1 (25 °C)
自然発火温度:	データなし
分解温度:	336-357 °C
粘度(粘性率):	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	120 °Cから分解を始め、357 °Cで融解し、硫酸水素アンモニウムとアンモニウムを生ずる。
化学的安定性:	通常 of 取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性:	強アルカリと反応してアンモニアガスを発生する。
避けるべき条件:	高温を避ける。
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	アンモニアガス、亜硫酸ガス

11. 有害性情報

急性毒性	
経口:	ラットLD ₅₀ = 4250 mg/kg
経皮:	ラットLD ₅₀ > 2000 mg/kg
吸入:	吸入(ミスト)ラットLC ₅₀ > 1000 mg/m ³ (8hr)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	刺激性なし(ラビット)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	刺激性なし(ラビット)
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	エームス試験: 陰性 染色体異常試験: 陰性
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	ラット吸入毒性試験(0.3 mg/L, 8時間/日, 14日間)では影響は認められていない。 ラット13週間反復経口投与試験(1792 mg/kg/day)では影響は認められていない。
吸引性呼吸器有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:	LC ₅₀ 96(H) ゼブラフィッシュ = 420 mg/L EC ₅₀ 48(H) オオミジンコ = 129 mg/L EC ₅₀ 18(D) クロレラ = 2700 mg/L
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壌中の移動性:	データなし
オゾン層破壊物質:	当該物質はモントリオール議定書の附属書に記載されていない。

13. 廃棄上の注意

残渣廃棄物:	水酸化ナトリウム等、反応し易い物質の近くや高温となる場所に廃棄してはならない。 産業廃棄物処理法、大気汚染防止法等の関連法規に適合した処理をしてから廃棄する。
--------	--

汚染容器及び包装:

処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に依頼する。
 容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号: 該当しない
 品名(国連輸送名): 該当しない
 国連分類: 該当しない
 容器等級: 該当しない
 海洋汚染物質: 該当しない

国内規制

陸上輸送情報: 該当しない
 海上輸送情報: 該当しない
 航空輸送情報: 該当しない
 緊急時応急措置指針番号: 該当しない
 特別の安全対策: 輸送の際は、容器の破損による微粉末の飛散防止に努め、雨に当たらないようにシート等で被覆し、「7.取扱い及び保管上の注意」の項に従って輸送する。
 乾燥した容器、袋に詰めて輸送する。
 強アルカリとの混載は避ける。

15. 適用法令

労働安全衛生法: 該当しない
 消防法: 該当しない
 毒物及び劇物取締法: 該当しない
 大気汚染防止法: 該当しない
 土壌汚染防止法: 該当しない
 水質汚濁防止法: 有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
 海洋汚染防止法: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
 船舶安全法: 該当しない
 航空法: 該当しない
 道路法: 該当しない
 化学物質管理促進法(PRTR法): 該当しない
 外国為替及び外国貿易法: 輸出入貿易管理令別表第1の16の項【HS3102.21】

16. その他の情報

参考文献:

1. 化学大辞典 共立出版(1993)
2. GHS分類結果データベース NITE(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)HP
3. GHS混合物分類判定システム

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。